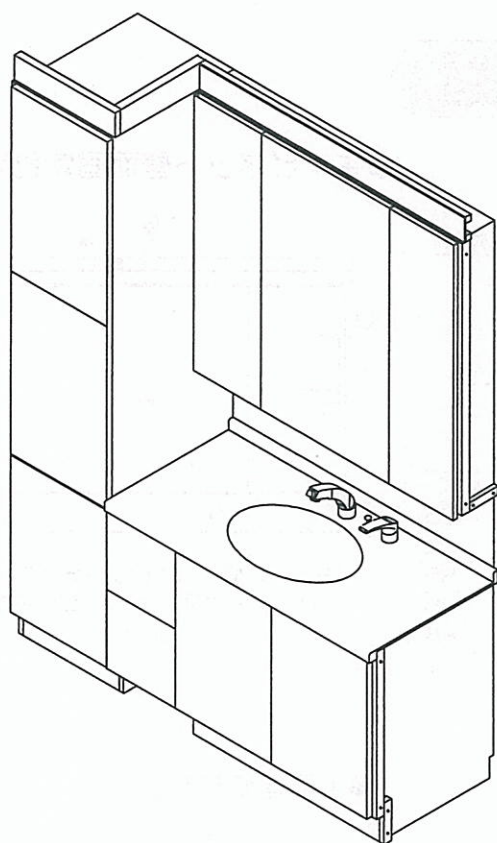


タカラ 洗面化粧台

設置説明書 (設置される方へ)

洗面化粧台 TAシリーズ



もくじ

設置説明書

ページ

- | | |
|---------------------|------|
| 1. 設置される方へのお願い..... | 1 |
| 2. 組立配管図・取付寸法図..... | 1~2 |
| 3. 設置上のご注意 | 3~5 |
| 4. 設置手順 | 6~14 |
| 5. 点検及び仕上げ..... | 15 |
| 6. お願い事項..... | 15 |

設置される方へ 本体に同梱されている取扱説明書等は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れのないように保管し、設置完了後、お客様にお渡しください。

タカラスタンダード株式会社

設置説明書 (設置される方へ)

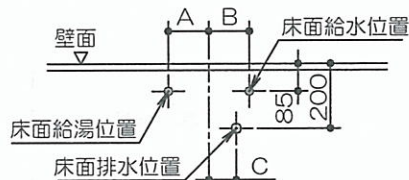
1. 設置される方へのお願い

- この説明書は、設置上のご注意と手順を記載しています。設置前に必ずお読みの上、正しく設置していただくようお願いいたします。
- ・電源直結配線される際の電気工事は、必ず電気工事店に依頼してください。
- ・給排水工事は、必ず水道局指定工事店に依頼してください。
- ・本商品の設置が終了しましても、他の作業が残っている場合は万一の場合ににそなえ、商品に布等をかぶせて保護してください。
- ・設置後は、水栓の取扱説明書を必ずお客様にお渡しください。お渡しできない時は、わかりやすい位置に紛失しないよう納めておいてください。
- ・梱包資材等の不要部材は、法令にしたがって適正な処理をお願いします。

2. 組立配管図・取付寸法図

●給排水位置

シングルレバー混合水栓

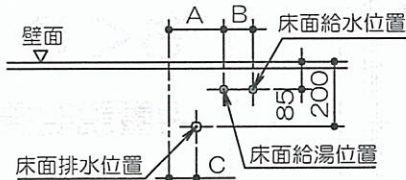


ボウルセンター
図は上から見た位置

カウンター種類	A	B	C
785/1240/1695	125	125	85
918	0	125	110
2ボウル (左側)	125	125	85
2ボウル (右側)	125	125	-85

※2ボウルタイプ右側の排水位置はボウルセンターの左側になります。

シングルレバーシャワー水栓

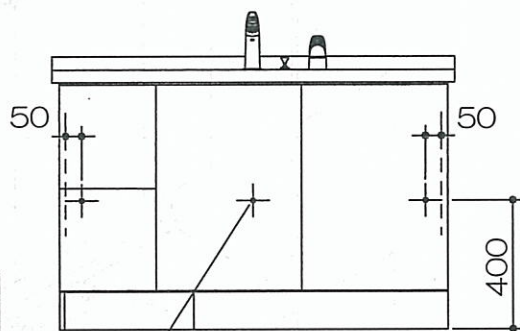


ボウルセンター
図は上から見た位置

カウンター種類	A	B	C
785/1240	170	90	85
918	170	90	110
1695 (左ボウル)	140	120	85
1695 (右ボウル)	140	70	85
2ボウル (左側)	170	90	85
2ボウル (右側)	170	90	-85

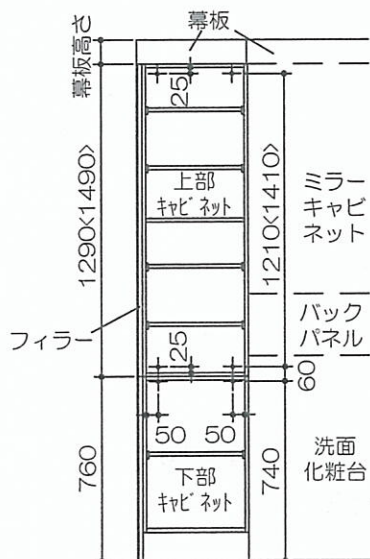
※2ボウルタイプ右側の排水位置はボウルセンターの左側になります。

●キャビネット壁面固定位置

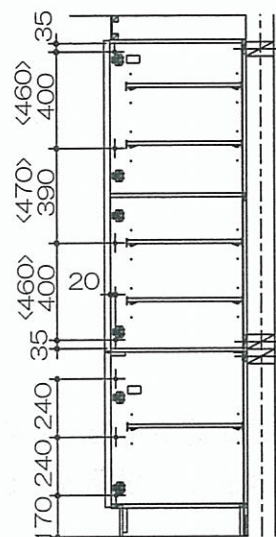


※間口120cm以上はキャビネットセンター付近にもう1箇所追加。

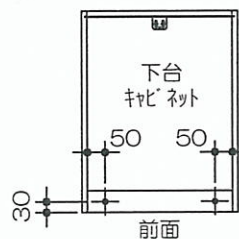
●トールキャビネット壁面固定位置



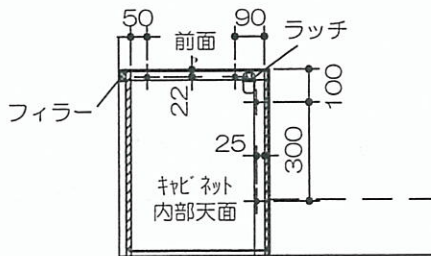
●フィラー固定位置



●上下連結穴位置

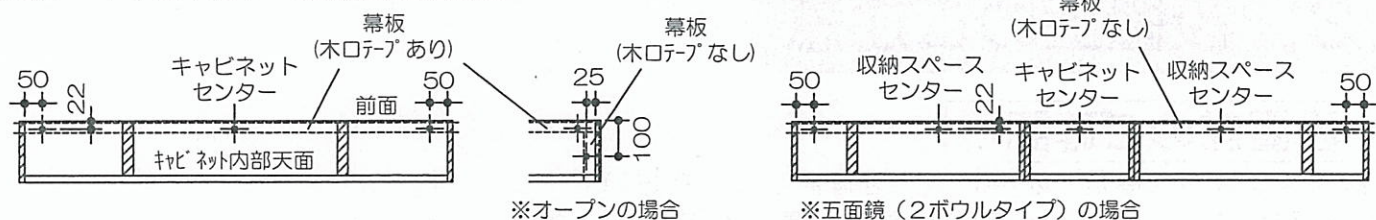


●幕板固定位置

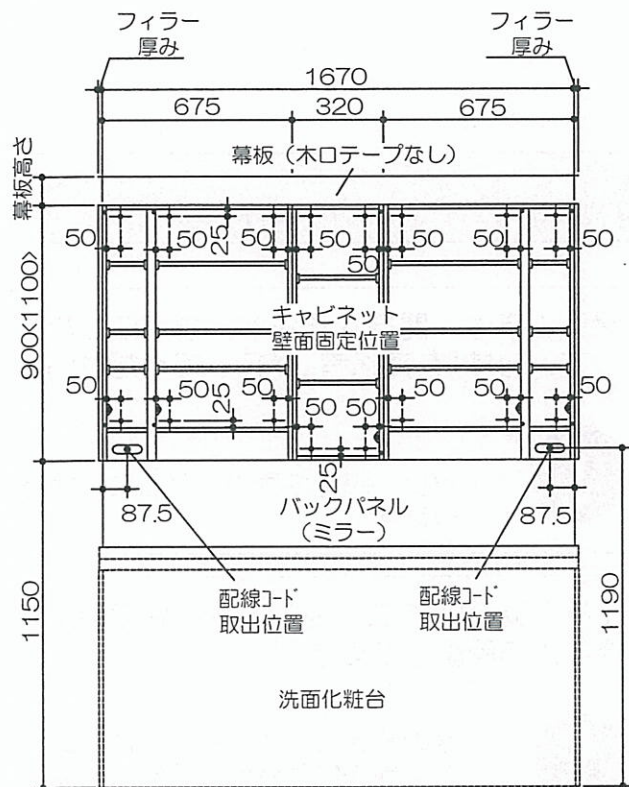
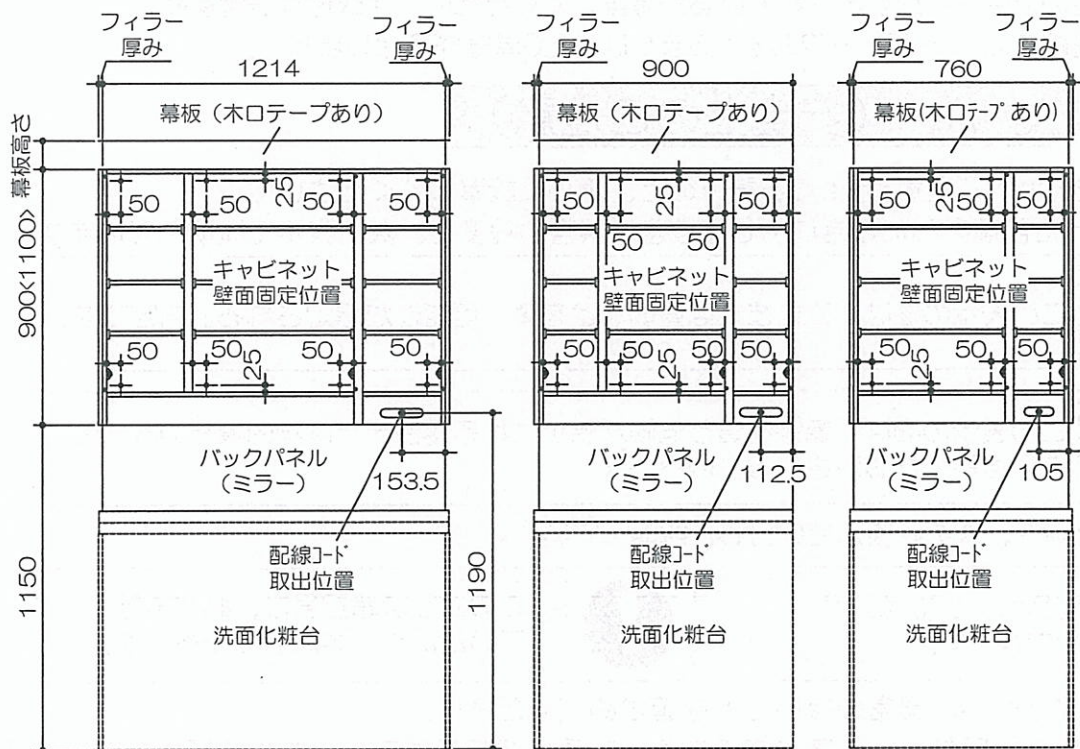


注) トールキャビネットとフィラー・幕板との組合せはセットプランによって図示以外の組合せがありますので注意してください。また、<>内寸法はトールキャビネット高さ2250cmタイプを示します。

●ミラーキャビネットへの幕板固定位置

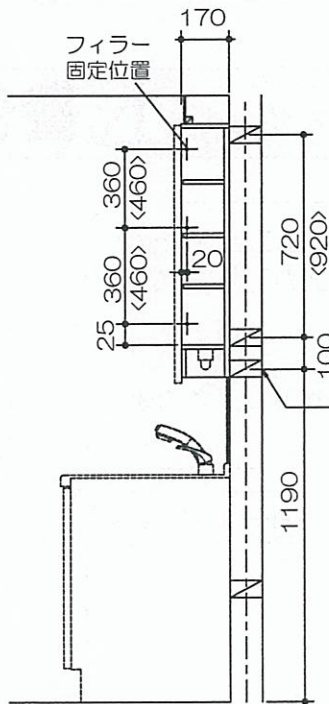


●ミラーキャビネット壁面固定位置と配線コード取出位置

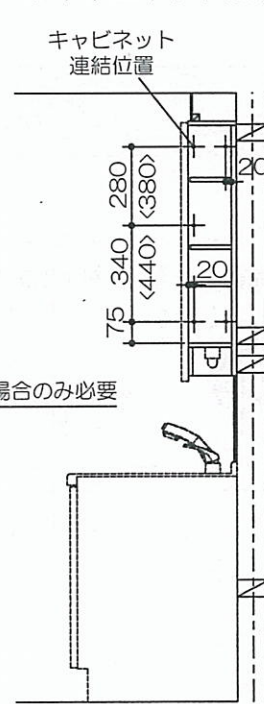


※電源（配線コード）は2回路必要です。

●フィラー固定位置



●キャビネット連結位置



注) ミラーキャビネットとフィラー・幕板との組合せはセットプランによって図示以外の組合せがありますので注意してください。
また、<>内寸法はミラーキャビネット上面が2250cmタイプを示します。

3. 設置上のご注意

設置前のご確認

- ・設置する場所の直角・水平レベルを確認してください。
- ・取付用栈木が、壁面の所定の位置に設置されているか確認してください。
- ・屋内側の給排水管が所定の位置に設置されているか確認してください。
- ・配線コードが壁面の所定の位置から取り出されているか確認してください。（取付寸法図参照）
（直結する屋内配線側電線には、VVFケーブルφ1.6またはφ2.0単線が適合します。）

必ずお守りください。（安全上のご注意）

- 設置作業前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
- 表示内容を無視して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合または物的損害のみ発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵記号は、してはいいない「禁止」の内容です。



このような絵記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

- 設置完了後、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。
- 本体に同梱されている取扱説明書は、お客さまにお渡しする大切な書類です。紛失や汚れのないように保管し、設置完了後お客さまにお渡しください。



警告

- ・ミラーキャビネット・洗面収納ユニットの設置は、建築壁の構造を確かめて正しく行ってください。



- ・落下して、けがをするおそれがあります。

- ・電気工事は、関連する法令・規定にしたがって、必ず「有資格者」が行ってください。



- ・火災、感電の原因になることがあります。

- ・交流100V以外の電源は絶対に使用しないでください。



- ・火災・感電の原因になります。

- ・定格15A以上のコンセントを単独で使用できるように設置してください。



- ・他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

⚠ 注意

- 洗面化粧台キャビネットの壁への固定は、壁の構造を確認して設置手順にしたがって正しく行ってください。



- 固定方法を誤ると使用中にキャビネットが転倒したり、位置がずれて給排水管から水漏れするおそれがあります。

- 設置完了後は、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認してください。



- 扉の取付けに異常があると、使用中に扉が落下して、ケガをするおそれがあります。

- 排水パイプの接続は、設置手順にしたがって正しく行ってください。



- 接続が不備だと使用中に水漏れが発生し、キャビネットの中や床を汚すおそれがあります。

- 排水パイプはU字型に曲げたり、折り曲げて取り付けないでください。



- 使用中に排水パイプがつまり、ボウルから水があふれて、床を汚すおそれがあります。

- 排水パイプと排水管との接続は、設置手順にしたがってスキマのないように正しく行ってください。



- 接続部にスキマがあると、不快な臭いや、カビの発生原因になることがあります。

- 組込まれる電気機器・水栓などについてはそれぞれの設置説明書及び製品本体の表示事項を守り、正しく設置してください。



- 設置を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になります。

- 仕上げに使われる溶剤・洗剤・その他の薬品類は、それぞれの注意表示にしたがって、正しくお使いください。

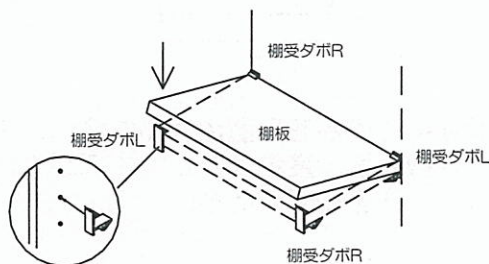


- 使い方を誤ると、人体に悪影響を及ぼしたり、使用部材の損傷や劣化の原因になります。

- 棚板を設置する時は、棚受をすきまのないよう根元まで確実に差し込んでください。
※下記をご覧ください。



- 棚板、収納物が転倒し、使用者がケガをする場合があります。



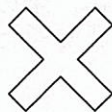
快適にご使用いただくためにお守りください。

- ・浴室内等の湿気の多い場所への設置は避けてください。



- ・製品が早く傷むおそれがあります。

- ・直射日光や殺菌灯が当たる場所、高温になる場所への設置は避けてください。



- ・プラスチック部品が変色するおそれがあります。

- ・設置する時にボウルに乗らないでください。



- ・ボウルに傷がつくおそれがあります。

- ・工具類等をボウル・キャビネットに落としたり当てたりしないでください。



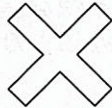
- ・傷がついたり欠けたりするおそれがあります。

- ・設置する時にカウンターに乗らないでください。

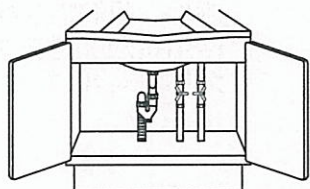


- カウンターに傷がつくおそれがあります。

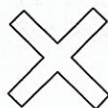
- ・梱包材の中には付属部品がはいっていますので、入れたまま捨ててしまわないようにご注意ください。



- ・水栓の水量の調節及び器具の点検を容易にするため必ず止水栓をご使用ください。



- ・ミラーキャビネットのウラ面を傷つけないように注意して設置してください。



- ・配線を傷つけるおそれがあります。

- ・設置途中で製品を仮置きする場合は、ダンボールを敷く等の養生を施し、キズがつかないように十分注意してください。

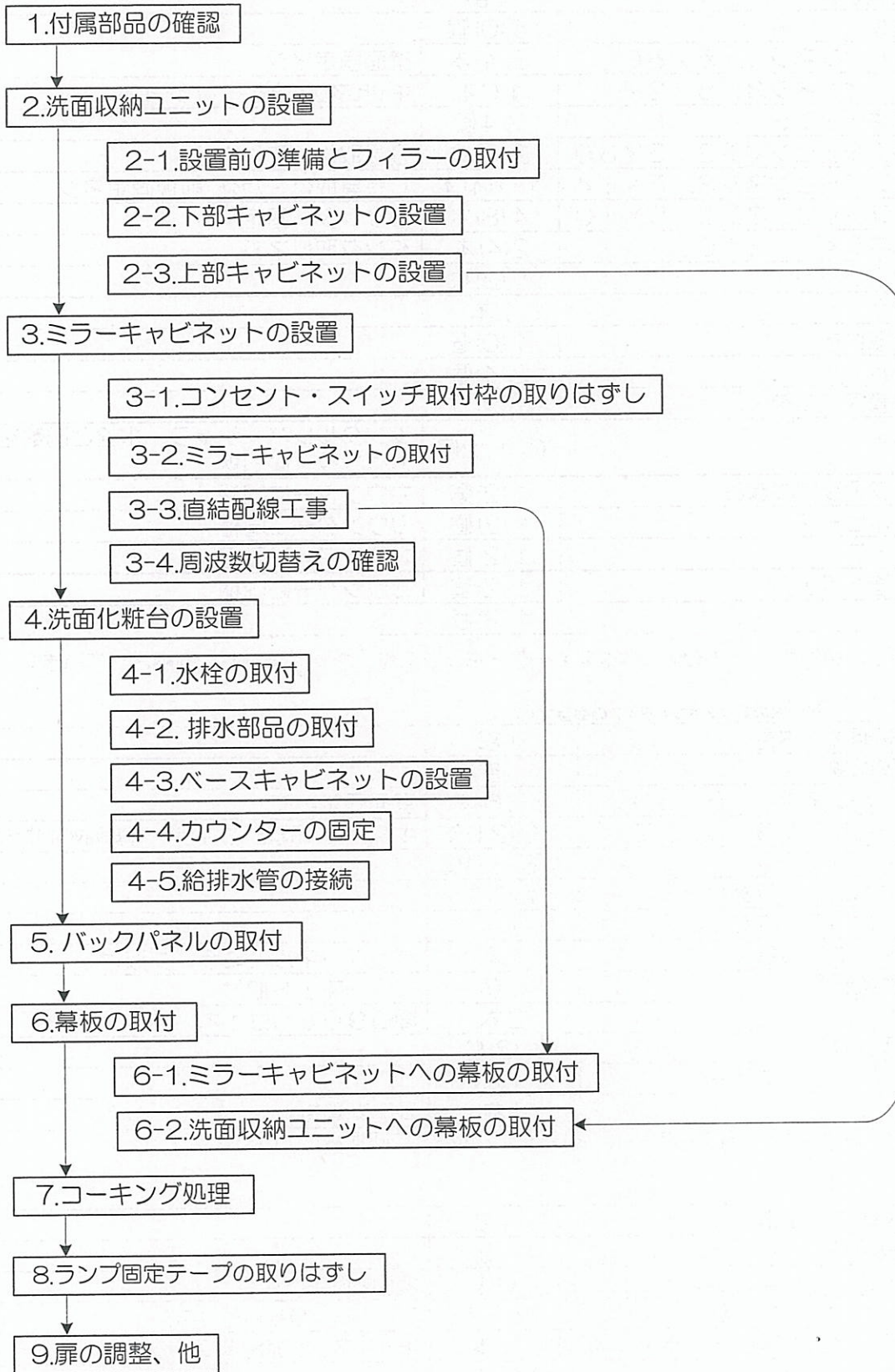


- ・設置中、キャビネットや扉にドライバー、金づち等の固いものを当てたり落としたりしないように十分注意してください。



4. 設置手順

下記の順序にしたがって設置作業を進めてください。



1.付属部品の確認

・付属部品がそろっているか確認してください。

◎洗面化粧台 ※()内の数は2ボウルタイプの数量です。

小物セット	設置説明書（本書）	1 部	
	取扱説明書	1 部	
	L 金具	4 (0) 個	
	皿タッピンネジ 4. 5 × 6 0	3 (4) 本	壁面固定ネジ
	皿タッピンネジ 3. 5 × 2 7	1 0 本	キャビネット連結・フィラー取付けネジ
	ネジキャップ S	1 4 個	
	トラスタッピンネジ 3. 5 × 3 0	2 (0) 本	金具取付棧取付ネジ
	トラスタッピンネジ 3. 5 × 1 4	1 0 (4) 本	L 金具取付・スライド 前板固定ネジ
	トラスタッピンネジ 3. 5 × 1 0	4 (8) 本	カウンター固定ネジ
	丸木ネジ 4. 1 × 1 6	2 (4) 本	タンク取付ネジ
	排水プレート	1 (2) 枚	
同梱部品	フィラー	2 本	
	金具取付棧	1 (0) 個	
	止水栓	2 (4) 個	
	排水管アダプター	1 (2) 個	
	タンク	0 / 1 / 2 個	シングルレバーシャワー水栓と同数をカウンターに同梱
	ポップアップつまみ	1 (2) 個	カウンターに同梱
	テールピース	1 (2) 個	カウンターに同梱
	ケレップ	1 (2) 個	カウンターに同梱
	S直管トラップ	1 (2) 個	カウンターに同梱
その他	水栓	1 (2) 個	

※2ボウルタイプの場合、小物セットは左側（ヘルスメーターボックス付）キャビネットに同梱されています。

◎ミラーキャビネット ※()内の数は2ボウルタイプの数量です。

小物セット	設置説明書（本書）	1 部	
	取扱説明書	1 部	
	皿タッピンネジ 4. 5 × 6 0	8 (16) 本	壁面固定ネジ
	皿タッピンネジ 3. 5 × 2 7	1 0 (21) 本	キャビネット連結、フィラー・幕板取付けネジ
	ネジキャップ S	1 8 (37) 個	
同梱部品	幕板（木口テープあり）	1 (0) 本	
	幕板（木口テープなし）	1 本	
	変成シリコン接着剤	1 本	バックパネル（ミラー）取付
	速乾型接着剤	1 個	ミラーマット取付
	フィラー	2 本	間口 9 0 c m は 1 本
	歯ブラシ立て	1 (2) 個	
その他	バックパネル（ミラー）	1 枚	
	ミラーマット	1 枚	両面粘着剤シート

※2ボウルタイプの場合、小物セットは中央キャビネット（一面鏡）に同梱されています。

◎洗面収納ユニット

小物セット	設置説明書（本書）	1 部	
	取扱説明書	1 部	
	皿タッピンネジ 4. 5 × 6 0	6 本	壁面固定ネジ
	皿タッピンネジ 3. 5 × 2 7	1 3 本	フィラー・幕板取付けネジ
	トラスタッピンネジ 3. 5 × 1 4	1 本	キャビネット連結ネジ
	ネジキャップ S	1 9 個	
同梱部品	下部フィラー	4 本	間口 3 0 c m タイプは 2 本
	上部フィラー	1 本	
	ミラーキャビネット用フィラー	1 本	間口 3 0 c m タイプはなし

※付属部品は上台キャビネットに同梱されています。

※間口 4 5 c m タイプの場合は、洗面収納ユニットに同梱されているフィラーを洗面化粧台・

ミラーキャビネットに使用してください。

2.洗面収納ユニットの設置

2-1.設置前の準備とフィラーの取付

①壁面固定穴加工

キャビネットの後板の所定の位置に壁面固定穴φ5を下部キャビネットに2箇所、上部キャビネットに4箇所あけてください。(P.1参照)

②連結穴加工

下部キャビネットに上下連結穴φ4を2箇所あけてください。(P.1参照)

③幕板取付穴加工

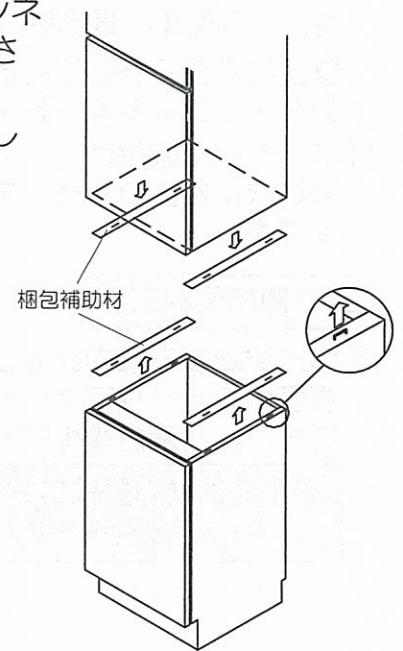
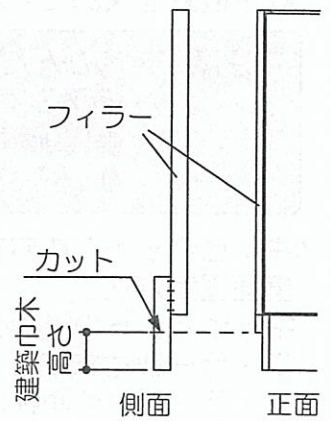
幕板が付くキャビネットの天板に取付穴φ4を4箇所あけてください。(P.1参照)

④フィラー取付

フィラーを建築巾木の高さに合わせてカットして下さい。

フィラーが付く側板に取付穴φ4を下部キャビネットに3箇所、上部キャビネットに4箇所あけて、フィラーをキャビネット前面を基準に皿タッピンネジ3.5×27で固定してください。取付後はキャップを取付けてください。

⑤キャビネットに取付られている梱包補助材(輸送時養生用)を取りはずしてください。タッカーがキャビネットに残ったときは引き抜いてください。



2-2.下部キャビネットの設置

①キャビネットを所定の位置に設置してください。

ご注意：床が水平でない場合には、すき間に詰め物をしてガタつきのないように水平に設置してください。

②壁面にネジ打ちしてください。

- ・皿タッピンネジ4.5×60で固定してください。固定後はネジにキャップを付けてください。

2-3.上部キャビネットの設置

①キャビネットを所定の位置に設置してください。

②下部キャビネット内部連結穴より皿タッピンネジ3.5×27、背板上のL金具よりトラスタッピンネジ3.5×14で連結してください。固定後はネジにキャップを付けてください。

③壁面にネジ打ちしてください。

- ・皿タッピンネジ4.5×60で固定してください。固定後はネジにキャップを付けてください。

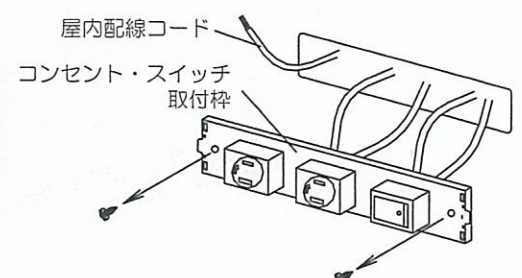
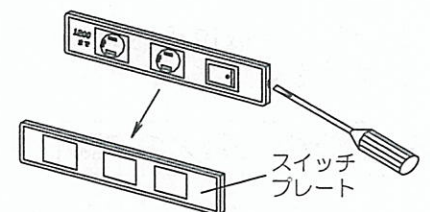
3.ミラーキャビネットの設置

3-1.コンセント・スイッチ取付枠の取りはずし

①スイッチプレートを⊖ドライバーではずしてください。

②コンセント・スイッチ取付枠のネジをはずし、取付枠を手前に引き出してください。

ご注意：コンセント・スイッチ取付枠を引き出す時、強く引っ張ると断線のおそれがあります。100mm以上引き出さないように注意してください。



③ミラーキャビネット壁面固定時に、屋内配線コードをコンセント取付枠の取付部から引き出してください。

3-2.ミラーキャビネットの取付

①固定位置を決めてください。

ご注意：・ゆがんだ壁面に固定すると、鏡がゆがみますので、壁面との間に当て木などをあてて修正してください。
・屋内配線コードをミラーキャビネットと壁面の間、特に固定用穴位置にはさむことのないように注意してください。

②キャビネットへの穴加工（P.2参照）

- ・壁面固定穴加工
キャビネットの後板の所定の位置に壁面固定穴φ5をあけてください。
- ・フィラー取付穴加工
フィラーが付く側板に取付穴φ4を3箇所あけてください。
- ・幕板取付穴加工
幕板が付くキャビネットの天板に取付穴φ4を3箇所、側面がオープンの場合は4箇所あけてください。五面鏡の場合は二面鏡に2箇所、一面鏡に1箇所、合計5箇所の穴をあけてください。

③壁面にネジ打ちしてください。

- ・皿タッピンネジ4. 5×60で固定してください。固定後はネジにキャップを付けてください。

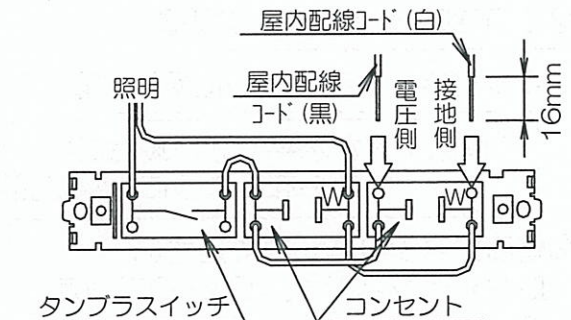
④フィラーの取付け

- ・連結穴より皿タッピンネジ3. 5×27で取付けてください。固定後はネジにキャップを付けてください。

3-3.直結配線工事

①直結配線する屋内配線コードの先端の被覆をコンセント裏面のストリップゲージ（16mm）に合わせてむいてください。（適合電線VVFφ16またはφ2.0単線）

ご注意：屋内配線コードの被覆は、適正量むかないと接触不良やショートのおそれがあります。

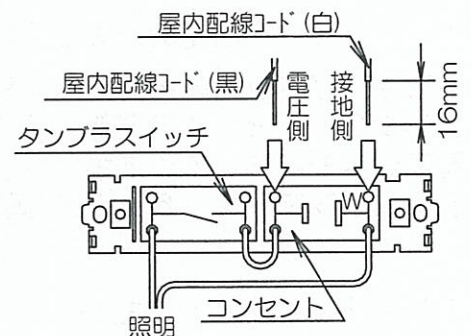


間口90・120cmの場合

②屋内配線コードをコンセントの接続穴に差し込んでください。

ご注意：

- ・屋内配線コードは、極性に注意して導体が露出しないようにコンセントの奥までしっかりと差し込んでください。接触不良やショートのおそれがあります。
- ・屋内配線コードを差し込んだ後、一度引っぱり接続の確認をしてください。



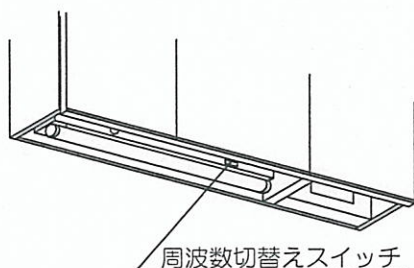
間口75cmの場合

間口67cm（2ボウルタイプ）の場合

③コンセント取付枠とスイッチプレートをはずした手順と逆の手順で取付けてください。

3-4.周波数切替えの確認

①蛍光灯の周波数は、50Hzにセットされていますので、60Hz地域でのご使用は、照明器具に付いている切替えスイッチを60Hzにセットしてください。



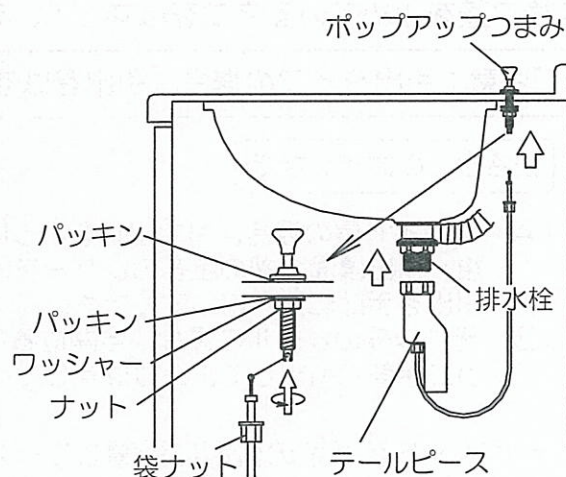
4.洗面化粧台の設置

4-1.水栓の取付

①水栓付属の説明書にしたがって水栓を取付けてください。

4-2.排水部品の取付

- ①テールピース・ポップアップつまみを取付けてください。
- ②ポップアップつまみとテールピースのワイヤーを連結してください。

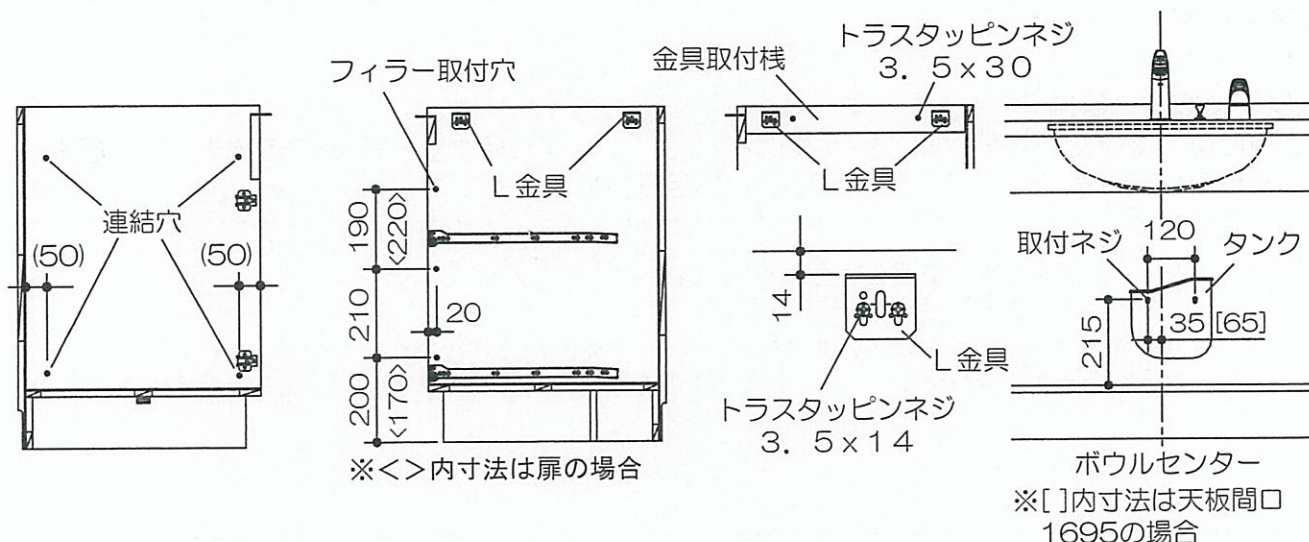
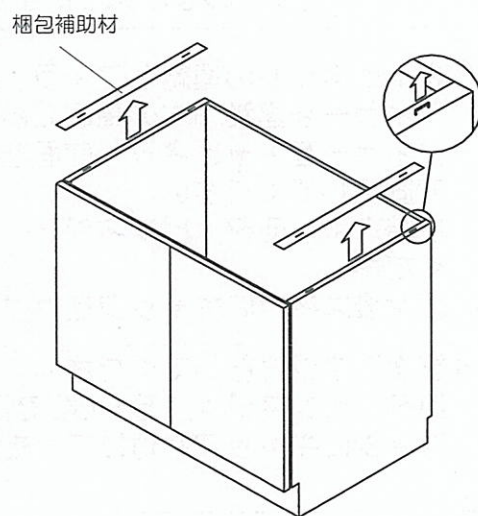


4-3.ベースキャビネットの設置

①キャビネットに取付られている梱包補助材（輸送時養生用）を取りはずしてください。タッカーがキャビネットに残ったときは引き抜いてください。

②キャビネットへの穴加工と部品の取付

- ・壁面固定穴加工（P.1参照）
キャビネットの後板の所定の位置に壁面固定穴φ5をあけてください。
- ・連結穴加工（下図）
キャビネットの連結方向を確認して、連結作業が容易な方の側板に連結穴φ4を4箇所あけてください。
- ・フィラー取付穴加工（下図）
フィラーが付く側板に取付穴φ4を3箇所あけてください。
- ・側板へのL金具取付
カウンター両端にくる側板を確認してください。
側板にフィラーが付かない場合、金具取付枠に側板への取付用穴φ4を2箇所あけて、トラスタッピンネジ3.5×30で側板に固定してください。
L金具をトラスタッピンネジ3.5×14で固定してください。
（間口137cm・30cmタイプはL金具が取付けてありますので取付ける必要はありません。）
- ・タンク引っかけ用ネジの取付（シングルレバーシャワー水栓の場合）
キャビネットの後板の所定の位置に丸木ネジ4.1×16をネジの首が3mmほど残るように取付けてください。（タンクの着脱ができるか確認してください。）

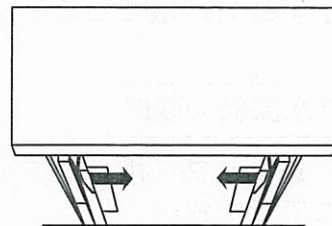


③点検口蓋を止めているネジをはずして、底板点検口蓋をはずしてください。

ご注意：引出タイプの場合、引出をはずして作業してください。

引き出しのはずしかた

- (A) スライド扉の場合、引き出しをいっぱい引き出した後、引出裏面の図の左右のレバーを内側に押しながら引出を手前に引き出してください。
- (B) それ以外のレールの場合、全開位置から持ち上げるように手前に引出して、取りはずしてください。



(A) スライド扉タイプの場合

④キャビネットを所定の位置に設置してください。

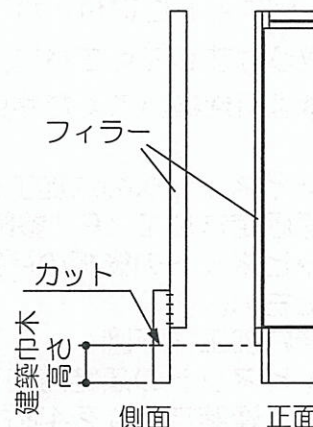
ご注意：床が水平でない場合には、すき間に詰め物をしてガタつきのないように水平に設置してください。

⑤キャビネットの連結とフィラーの取付

- ・フィラーを建築巾木の高さに合わせてカットして下さい。
- ・フィラーをキャビネット前面を基準に皿タッピンネジ3. 5×27で固定してください。
- ・連結穴より皿タッピンネジ3. 5×27でキャビネットを連結してください。
- ・固定後はネジにキャップを付けてください。

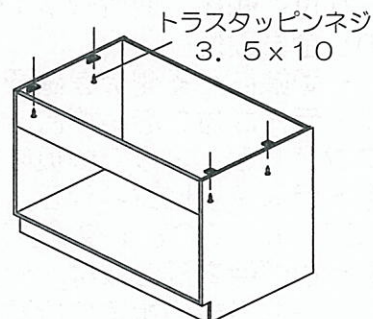
⑥壁面にネジ打ちしてください。

- ・皿タッピンネジ4. 5×60で固定してください。固定後はネジにキャップを付けてください。



4-4.カウンター固定

キャビネット両側のL金具を介してトラスタッピンネジ3. 5×10で固定してください。



4-5.給排水管の接続

＜給排水の接続の前作業＞

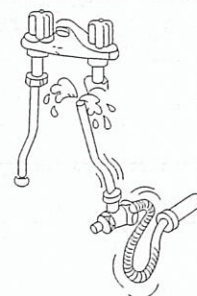
現場の配管位置に合わせて、点検口蓋に必要な穴（給水管・給湯管・排水管用）を加工してください。
「給排水位置（P1）参照」

＜給水管・給湯管の接続＞

- ①点検口蓋にあけた穴を給水管・給湯管に通して、止水栓を給水管・給湯管に接続してください。
- ②水栓付属の説明書にしたがって、水栓と止水栓を接続してください。

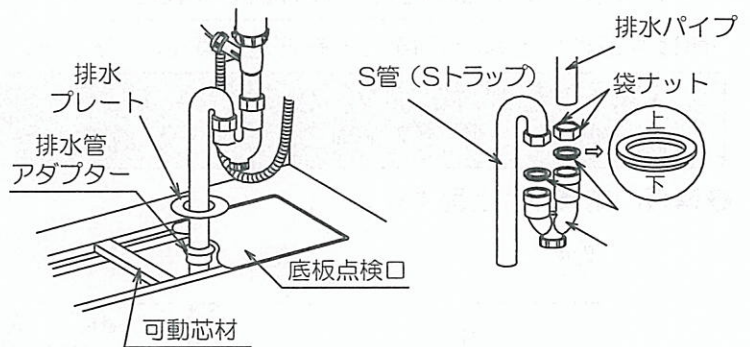
ご注意：・パッキンの取り付け位置を間違えたり、ねじれた状態で接続しないでください。水漏れの原因になります。

- ・金属製のナット類は充分締め付けてください。締め付け不良の場合、水漏れの原因になります。



＜排水管の接続＞

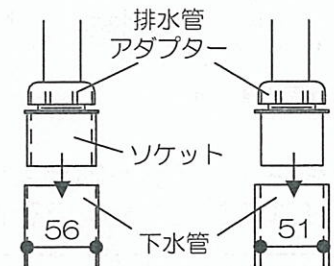
- ①底板点検口蓋穴に、S管を通してください。
 - ②S管の先端に排水管アダプターを通し、排水管に接続してください。
 - ③配管を避け、点検口開口がなるべく均等になる位置に可動芯材を置いてください。
 - ④底板点検口蓋を底板に取付けてください。
 - ⑤排水プレートの剥離紙をはがし、割り部分からS管を通し底板に設置してください。
- ・凍結防止・結露防止の必要な場合は、配管に保温材を巻く等の保温処理を施してください。



ご注意：・排水管アダプターは、内径51、56の2種類の排水管に接続できます。すき間ができると臭気や湿気が漏れるおそれがありますので、完全にシールしてください。

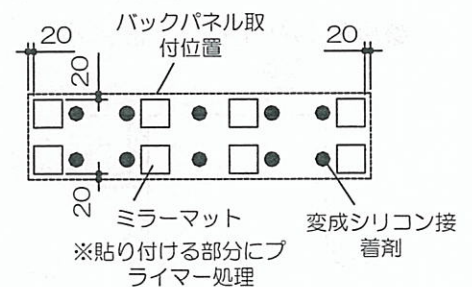
※下水管の内径がφ51の場合は排水管アダプターのソケットをはずしてから下水管と接続してください。

- ・袋ナットは、パイプレンチ等を使用して締め過ぎないでください。袋ナットが破損するおそれがあります。
- ・U管接続用の台形パッキンは、向きを逆にしたり、ゆがんだ状態で締め付けしないでください。水漏れの原因になります。



5.バックパネルの取付

- ①バックパネル（ミラー）の取付ける壁面にクロス等が貼られている場合には必ずそれを取り除いてください。
- ②壁面にミラーマットを取付ける位置に印をつけ、プライマーとして速乾型接着剤を均一に塗布してください。
- ③接着剤が完全に乾いたことを確認後、ミラーマットを10cm角程度にカットし、400mmピッチを基準として壁面に貼り付けてください。
- ④壁面に変成シリコン接着剤を300mmピッチを基準として30φの球体をイメージして塗布してください。
- ⑤ミラーマットの剥離紙をはがし、バックパネル（ミラー）をミラーマットに圧着してください。



ご注意：バックパネル（ミラー）の角当てには十分注意してください。ミラーの破損、シケ（ミラーの腐食）の原因となります。

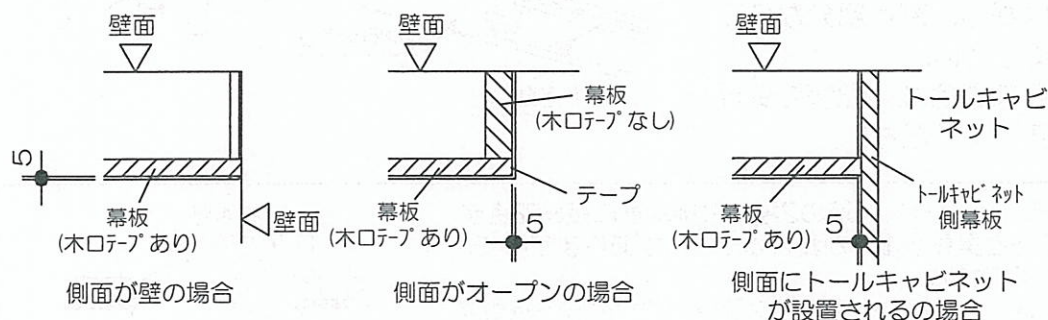
6. 幕板の取付

6-1. ミラーキャビネットへの幕板の取付

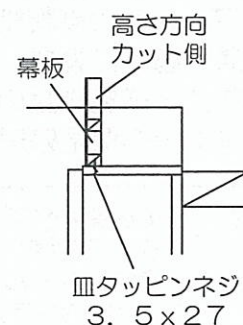
① 幕板を取付ける部分の間口・高さを測定し、カットしてください。

ご注意：側面がオープンになる場合は木口テープの位置に注意してください。オープン側の木口テープはカットしないでください。

● 幕板の納まり（上面より）



● 幕板の納まり（断面）



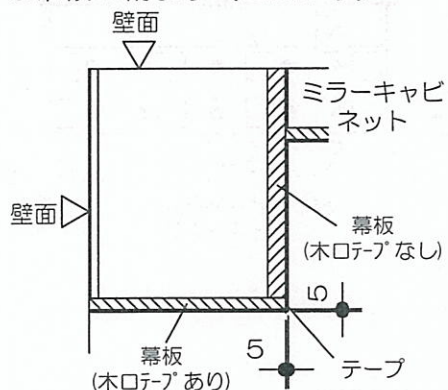
② 幕板をキャビネット内部より皿タッピンネジ 3.5 x 27 で取付けてください。固定後はネジにキャップを付けてください。

6-2. 洗面収納ユニットへの幕板の取付

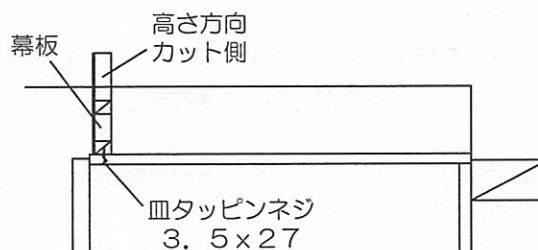
① 幕板を取付ける部分の間口・高さ寸法を測定し、カットしてください。

ご注意：側面がオープンになる場合は木口テープの位置に注意してください。オープン側の木口テープはカットしないでください。

● 幕板の納まり（上面より）



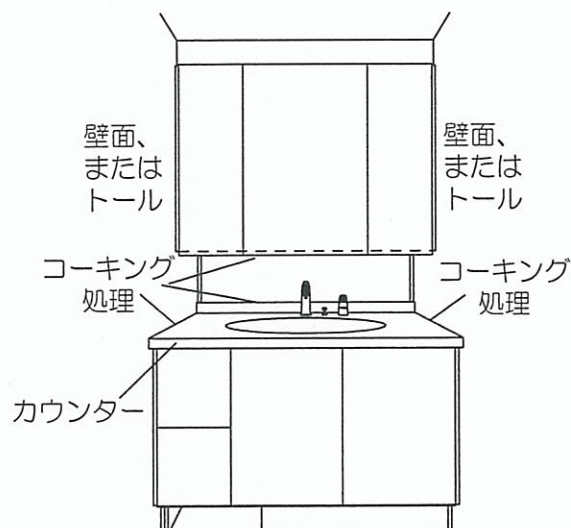
● 幕板の納まり（断面）



② 幕板をキャビネット内部より皿タッピンネジ 3.5 x 27 で取付けてください。固定後はネジにキャップを付けてください。

7. コーキング処理

・ 本設置に続いてミラーパネルの設置も完了しましたら、外観向上および防水処理のため、カウンターと接する面と間の目地をシリコン剤でコーキング処理を行ってください。



8. ランプ固定テープの取りはずし

- ・ランプはずれ防止のため、ランプの両端にテープが貼ってありますので、そのテープを取り除いてください。

9. 扉の調整、他

- ・扉に段違いや丁番のゆるみによるガタツキがないことを確認してください。不備がある場合は、下記説明にしたがって調整してください。
- ・タンクをキャビネット後板のネジ（P.10）にひっかけてください。
- ・水栓のホースをタンクの中に入れてください。
- ・ケレップをボウルの排水口に入れてください。



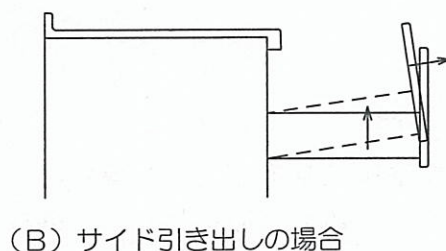
扉の調整のしかた

※調整には⊕ドライバーが必要です。

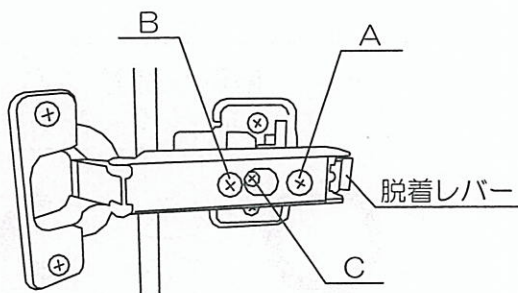
扉がガタついたり、扉に段違いが発生した場合は、下記の要領にしたがって締め直しまたは調整を行ってください。

① 扉の調整のしかた

- ・扉ガタツきの修正
Aのネジをしっかりと締め込んでください。
- ・扉の前後方向の調整
Aのネジを緩めることにより扉が前後に動きます。
- ・扉の左右方向（段違い）の調整
Bのネジの締め込み代で調整してください。
- ・扉の上下方向の調整
Cのネジの緩めることにより扉が上下に動きます。
注）調整終了後、緩めたネジを締め直してください。



(B) サイド引き出しの場合



② スライド扉の調整のしかた

① スライド扉の左右方向の調整

スライド扉側枠のカバーをはずして、側枠右側のAのネジを回して左右を調整して下さい。

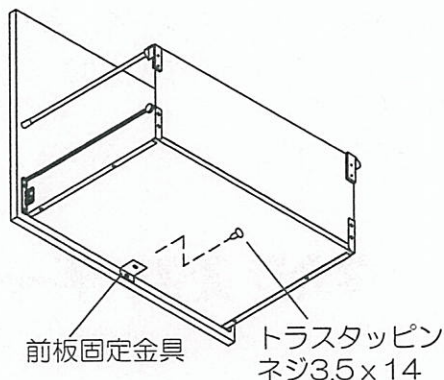
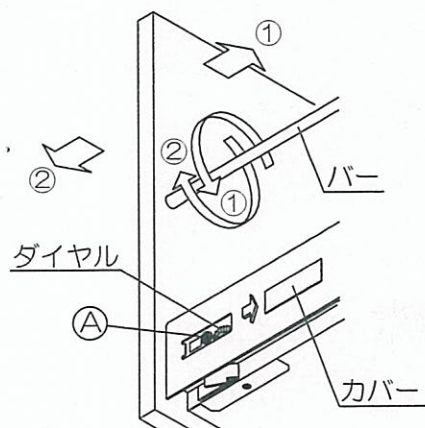
② スライド扉の上下方向の調整

スライド扉側枠のカバーをはずして、ダイヤルを回して上下を調整して下さい。

③ スライド扉の前後方向（角度）の調整

左右のバーを回して扉の角度調整を行ってください。

④ 調整後、60間口以上については前板固定金具と前板をトラスタッピンネジ3.5×14で固定してください。



5. 点検及び仕上げ

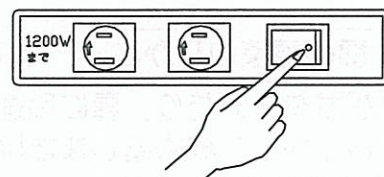
点検

- ・ 取付部材がしっかりと固定されているかを確認してください。
- ・ キャビネットの本体を引っ張り、ネジの抜けやガタツキが無いか確認してください。
- ・ 水栓の取扱説明書にしたがって、湯水混合水栓の整流網をはずして水を流し、配管内のゴミや油を十分洗い流したあと、整流網を元通りに取付けてください。
- ・ 配管接続部に水漏れがないことを確認してください。
- ・ ミラーキャビネットの本体を引っ張り、ネジの抜けやガタツキが無いか確認してください。

試運転

[照明・コンセントありタイプの場合]

- ・ スイッチプレートの照明スイッチをONにして、点灯を確認してください。確認が終わったらスイッチをOFFにしておいてください。



仕上げ

設置時に商品が汚れた場合は、水を含ませた布またはスポンジでふいてください。その後、乾いた布でふき取ってください。落ちにくい汚れの場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布またはスポンジで汚れをおとしてください。その後、水を含ませた布またはスポンジで洗剤をふき取り、最後に乾いた布でふき取ってください。

ご注意：溶剤、酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤、漂白剤は使用しないでください。商品をいためる恐れがあります。



6. お願い事項

【1. 商品の養生】

すべての作業が完了しましたら、キャビネットを保護養生してください。

【2. 取扱説明書の保管・引渡し】

洗面化粧台および組込機器等の取扱説明書・保証書はとりまとめて、ベースキャビネットに収納してお引き渡しの際、不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

【3. 梱包材その他部材の処理】

不要部材を処分する場合は、必ず公的許可を受けている業者に依頼してください。

タカラスタンダード株式会社

本社 〒536-8536 大阪市城東区鳴野東1丁目2番1号

TEL 06-6962-1531

10153666

11-3